

平成27年度行政事業レビューシート（総務省）

事業名	国際統計協会分担金			担当部局庁	政策統括官(統計基準担当)			作成責任者
事業開始年度	昭和元年度以前	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	政策統括官(統計基準担当)付国際統計管理官室			国際統計管理官 池田 博之
会計区分	一般会計			政策・施策名	-			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条第84号			関係する計画、 通知等	国際統計協会規約、会費支払い請求通知			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	オランダに本部を置く「国際統計協会」は、国際的な活動と協調の推進を通じて統計手法の改善等を目的とした国際機関(非営利団体)である。同協会には、主要な先進国をはじめ、各国の統計部局長が職務会員として加入し、同協会の活動を支援している。政府の公的統計を所管する当省は、同協会が開催する国際統計協会大会に出席し、我が国の統計に関する情報発信を行い、世界の統計水準の向上に寄与するとともに、同大会で最新の統計情報を入手することにより、我が国の統計の体系的整備に貢献するものである。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	国際統計協会は、各国の分担金により維持されており、国際統計協会の活動を通じて、世界各国の統計技術の開発、改善に寄与している。また、我が国の公的統計制度を所管する当省は、毎回、国際統計協会大会に積極的に参加し、発表等を行っており、我が国の統計に関する情報発信を行うとともに、同大会で最新の統計情報を入手することにより、我が国の統計の体系的整備に貢献している。(なお、これまでに3回、我が国においても、国際統計協会大会が開催されている。)							
実施方法	その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		前年度から繰越し	0	0	0	0	0	
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0		
		予備費等	0	0	0	0		
		計	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	
	執行額	0.2	0.2	0.3				
	執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27 年度
	国際統計協会大会に参加し、1回以上、論文発表等を行う。	国際統計協会大会における論文発表等回数	成果実績	回	-	4	-	
			目標値	回	-	1	-	1
			達成度	%	-	400%	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							☐ チェック	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	国際統計協会大会への参加回数	活動実績	回	-	1	-		
		当初見込み	回	-	1	-	1	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	予算額(二年分)/大会参加回数 (大会は隔年で開催されるため、二年分の分担金を単位当たりのコストとして算出)	単位当たり コスト	百万円	-	0.5	-		
		計算式			-	(0.2+0.3)/1	-	
平成27・28年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	国際統計協会分担金	0.3	0.3					
	計	0.3	0.3					

事業所管部局による点検・改善						
項 目			評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	主要各国の政府統計の代表が参加しており、我が国からは、公的統計制度を所管する当省が参加し、世界の統計水準の向上に寄与するとともに、最新の統計情報を入手することにより、我が国の統計の体系的整備に寄与するものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		-			
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	主要各国の政府統計の代表が参加しており、我が国からは、公的統計制度を所管する当省が参加し、世界の統計水準の向上に寄与するとともに、最新の統計情報を入手することにより、我が国の統計の体系的整備に寄与するものである。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	統計手法や技法の開発・改善を国際的な立場で推進する団体は国際統計協会以外に存在せず、会費は、同協会の運営のための経費として課されているものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	統計手法や技法の開発・改善を国際的な立場で推進する団体は国際統計協会以外に存在せず、会費は、同協会の運営のための経費として課されているものである。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	各年とも成果目標を達成している。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	各年とも見込みに見合った活動実績を達成している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	同協会が実施する会議に出席し、最新の統計情報を交換することは、世界の統計水準の向上に貢献するものであり、我が国の統計の体系的整備を行う上でも有用なものとなっている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-			
	所管府省・部局名		事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	国際統計協会大会は隔年で開催されており、平成26年度は開催されていない。				
	改善の方向性	引き続き、国際統計協会を活用して、世界の統計水準の向上へ寄与するとともに各国からの意見や最新情報を入手し、我が国の統計の体系的整備への一層の貢献等を促すため、同協会の大会においては、我が国の公的統計作成の上で重要な課題、又は国際的に共通すると思われる課題等を積極的に取り上げてプレゼンテーション等を行うよう努める。				
外部有識者の所見						
外部有識者による点検の対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き適正な予算執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	条約等に基づくものであるため。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	1	平成23年度	3	平成24年度	3	
平成25年度	175	平成26年度	164			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

総務省
0.3百万円

↓

【分担金】

A. 国際統計協会
0.3百万円

(国際統計協会事業の運営)

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.国際統計協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	国際統計協会事業の運営	0.3			
計		0.3	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載☐ チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際統計協会	国際統計協会事業の運営	0.3	-	-

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載☐ チェック